

彙報（平成二十八年年度）

〔委員会〕

書陵部委員会 平成二十九年三月十四日 開催（於書陵部南会議室）

委嘱委員（平成二十八年年度）

笹山晴生（東京大学名誉教授）

白石太一郎（大阪府立近つ飛鳥博物館長）

五味文彦（東京大学名誉教授）

今西祐一郎（人間文化研究機構国文学研究資料館長）

花登正宏（東京国際大学教授）

藤原克己（東京大学大学院教授）

〔図書課関係〕

一 収書

（一）購入図書

（二）寄贈図書

（三）雑件取得図書

二 調査・整理

（一）有栖川宮本

七五八一点

（二）九条家本

三点

（三）新収本

二点

（四）書陵部本蔵書印

三 出版

（一）『コロタイプ複製 伏見院宸記 卷八・付』二卷・解説二冊

一月三十一日刊行（便利堂製作） 七〇部

（二）『図書寮叢刊 古今伝受資料 一』三月一日刊行

二八五部（一五五部 菊葉文化協会製作 明治書院市販）

（三）『書陵部紀要 第六十八号』・『同 陵墓篇』各一冊 三月十日刊行

一一五〇部（『陵墓篇』一四五〇部）

四 複本作成

（一）マイクロ撮影

東山御文庫本

一九〇〇フィート

（二）デジタルデータ作成

書陵部所蔵資料画像公開関係

八七七七枚

五 調査

〔都外〕 京都御所東山御文庫、京都大学附属図書館、鶴見大学図書館

六 視察・小展示会

(一) 視察

一件

(二) 小展示会

一五件

七 図書・特定歴史公文書等

(一) 図書

閲覧(含複製本)

五八一人

八八九三点

複写

二九八件

九五九点

展示出品

九件

三八点

掲載(含電子出版)

一七九件

映像使用(含番組提供)

四二件

貴重書複製(含デジタル)

二六八点

(二) 特定歴史公文書等

利用請求件数 ※一

三〇七九件

利用決定件数 ※二

二八六八件

利用件数

二三六九件

閲覧

二三六三件

写しの交付 ※三

六件

異議申立て

〇件

利用請求権外の利用

一二〇〇五件

簡易閲覧

一一三三二件

特別複写

六八〇件

特別撮影

三件

移管元行政機関による利用

二五七五件

閲覧者数

一二一一人

※一・二 前年度の請求及び請求に対する利用決定も含めて計

上(二三三件)

※三 閲覧の上、写しの交付を利用した件数も重複

(三) 図書館

貸出

一一九九一冊

購入 図書

一六九冊

非図書資料

〇点

寄贈その他

三三五冊

(四) 古文書修補

未整理本

一点 六〇三枚

既整理本

一二九点 五九七一枚

公文書製本

二七点 七七六枚

その他

五点

八 共催展示会

書の美、文字の巧

平成二十八年九月十七日～十二月四日 開催(於：三の丸尚蔵館)

※三の丸尚蔵館第七十四回展覧会として共催

明治天皇、横濱へ―宮内省文書が語る地域史―

平成二十八年十月二十八日～同二十九年一月二十九日 開催

(於：横浜開港資料館) ※横浜開港資料館との共催

〔編修課関係〕

一 実録編修室

実録編修

1 昭和天皇実録編修

(一) 編修概要

当課では、平成二十六年度より五ヶ年計画で『昭和天皇実録』の公刊事業（本文十八冊・索引一冊）を開始した。第三年度に当たる平成二十八年度においては、同年九月に本文の第八（昭和十五年～昭和十七年）・第九（昭和十八年～昭和二十年）を、平成二十九年三月に第十（昭和二十一年～昭和二十四年）・第十一（昭和二十五年～昭和二十九年）・第十二（昭和三十年～昭和三十四年）を公刊した。

(二) 調査

〔都内〕 国立国会図書館、外務省外交史料館、防衛省防衛研究所ほか

2 香淳皇后実録編修

(一) 編修概要

当課では香淳皇后実録の編修事業を平成二十年度より開始した。本事業は十二ヶ年計画で、平成三十一年度に終了する予定である。なお、併せて皇族実録の編修を続行している。

(二) 調査

〔都内〕 国立国会図書館、外務省外交史料館、東京藝術大学大学史料室
ほか

〔都外〕 京都御所東山御文庫、宮内庁京都事務所、小田原市立図書館、

天理大学附属天理図書館、皇學館大学、神宮文庫、行田市郷土博物館、南足柄市郷土資料館ほか

(三) 受入図書・資料

・刊本

九七冊

・紙焼写真

二件

・DVD・CD

七件

二 皇室制度調査室

皇室制度史料編修

(一) 編修概要

当課では『皇室制度史料』の編修及び公刊事業を昭和五十二年度より開始し、現在は第四次編修事業（儀制編立太子、踐祚・即位、大嘗祭）を遂行している。本事業は十四ヶ年計画で、平成三十八年度に終了する予定である。平成二十八年度は、『皇室制度史料 儀制 立太子二』（宮内庁、平成二十九年三月十七日）を刊行した。

(二) 調査

〔都内〕 東京大学史料編纂所、国立公文書館、三井記念美術館ほか

〔都外〕 京都御所東山御文庫、京都大学附属図書館、立命館大学図書館、陽明文庫、仁和寺、泉涌寺、叡山文庫ほか

(三) 受入図書・資料

・刊本

四七冊

・紙焼写真

三九件

・CD

一件

〔新収本目録〕

平成二十八年四月から平成二十九年三月まで、当部において整理した和漢図書を収録。本紀要六十八号収書目録に続くものである。

宗教

員数 函 号

仏教

一二七 仏事

維摩講師等次第 一名 異本三会定一記

室町期写 一冊 一一一 五三三

文学

日本文学

和歌 連歌

二二四 撰集・御会

有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	原本（有栖）	八枚	有栖	三三二九
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	原本（有栖）	一二枚	有栖	三三三三
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	原本（有栖）	五枚	有栖	三三七五
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	原本（有栖）	五枚	有栖	三三八四
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	自筆等（有栖）	七枚	有栖	三三一九
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	阿野実紐等詠	自筆等（有栖）	二二枚	有栖 三三七七
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	阿野実紐等詠	自筆等（有栖）	五枚	有栖 三三二七
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	石井行宣等詠	自筆等（有栖）	五枚	有栖 三三三〇
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	石井行宣等詠	自筆等（有栖）	一六枚	有栖 三四〇〇
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	惠風・清明等詠	自筆等（有栖）	二枚	有栖 三三八八
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	惠風・中川晟章詠	自筆等（有栖）		

有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	正親町公明等詠	自筆等（有栖）	九枚	有栖 三三五一
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	正親町実光等詠	自筆等（有栖）	一七枚	有栖 三三七六
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	小倉豊季・桂咸子・安見鋭昌詠	自筆等（有栖）	三枚	有栖 三四〇二
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	小倉豊季等詠	自筆等（有栖）	一三枚	有栖 三三六五
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	久世通清等詠	自筆等（有栖）	七枚	有栖 三三三三
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	久我建通等詠	自筆等（有栖）	二五枚	有栖 三三六三
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	近衛忠熙等詠	自筆等（有栖）	九枚	有栖 三三八二
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	近衛経熙等詠	自筆等（有栖）	二枚	有栖 三三五七
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	近衛基前等詠	自筆等（有栖）	三三枚	有栖 三三二二
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	近衛基前等詠	自筆等（有栖）	一五枚	有栖 三三三一
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	近衛基前等詠	自筆等（有栖）	七九枚	有栖 三三五五
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	近衛基前等詠	自筆等（有栖）	八八枚	有栖 三三七九
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	近衛基前等詠	自筆等（有栖）	一七枚	有栖 三三九一
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	近衛基前等詠	自筆等（有栖）	一二枚	有栖 三三九九
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	島岡俊章等詠	自筆等（有栖）	九七枚	有栖 三三四九
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	清水谷公寿等詠	自筆等（有栖）	一六枚	有栖 三三五〇
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	清水谷公寿等詠	自筆等（有栖）	一九枚	有栖 三三六一
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	清水谷公寿等詠	自筆等（有栖）	一〇枚	有栖 三三九六
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	清水谷公寿等詠	自筆等（有栖）	一八枚	有栖 三三五二
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	清水谷公寿等詠	自筆等（有栖）	二四枚	有栖 三三八六
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	清水谷公寿等詠	自筆等（有栖）	二六枚	有栖 三三四三
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	清水谷公寿等詠	自筆等（有栖）	二〇枚	有栖 三三九五

有栖川宮宣 來短冊類	有栖川宮御會短冊	秋俊憲等詠	自筆等（有栖）	四一枚	有栖	三三五四	有栖川宮宣 來短冊類	有栖川宮御會短冊	職仁親王御詠等	御筆等（有栖）	七一枚	有栖	三三二九
有栖川宮宣 來短冊類	有栖川宮御會短冊	釈成淳等詠	自筆等（有栖）	二七四枚	有栖	三三六二	有栖川宮宣 來短冊類	有栖川宮御會短冊	職仁親王御詠等	御筆等（有栖）	六〇枚	有栖	三三三六
有栖川宮宣 來短冊類	有栖川宮御會短冊	照阿等詠	自筆等（有栖）	一六枚	有栖	三三二三	有栖川宮宣 來短冊類	有栖川宮御會短冊	職仁親王御詠等	御筆等（有栖）	八三枚	有栖	三三三七
有栖川宮宣 來短冊類	有栖川宮御會短冊	照阿等詠	自筆等（有栖）	八枚	有栖	三三七八	有栖川宮宣 來短冊類	有栖川宮御會短冊	職仁親王御詠等	御筆等（有栖）	五一枚	有栖	三三六四
有栖川宮宣 來短冊類	有栖川宮御會短冊	常仁親王御詠等	御筆等（有栖）	一四枚	有栖	三三一四	有栖川宮宣 來短冊類	有栖川宮御會短冊	職仁親王御詠等	御筆等（有栖）	六八枚	有栖	三三八〇
有栖川宮宣 來短冊類	有栖川宮御會短冊	典仁親王御詠等	御筆等（有栖）	二二枚	有栖	三三一五	有栖川宮宣 來短冊類	有栖川宮御會短冊	職仁親王御詠等	御筆等（有栖）	一七枚	有栖	三三八一
有栖川宮宣 來短冊類	有栖川宮御會短冊	清閑寺禪定等詠	自筆等（有栖）	五枚	有栖	三四〇一	有栖川宮宣 來短冊類	有栖川宮御會短冊	職仁親王御詠等	御筆等（有栖）	二五枚	有栖	三三八二
有栖川宮宣 來短冊類	有栖川宮御會短冊	尊超親王御詠等	御筆等（有栖）	一〇枚	有栖	三三一三	有栖川宮宣 來短冊類	有栖川宮御會短冊	竹屋光棟等詠	自筆等（有栖）	四枚	有栖	三三九七
有栖川宮宣 來短冊類	有栖川宮御會短冊	鷹司兼熙等詠	自筆等（有栖）	二五枚	有栖	三三八五	有栖川宮宣 來短冊類	有栖川宮御會短冊	職仁親王御詠等	御筆等（有栖）	二八枚	有栖	三三三三
有栖川宮宣 來短冊類	有栖川宮御會短冊	高橋毘乎等詠	自筆等（有栖）	四枚	有栖	三三六七	有栖川宮宣 來短冊類	有栖川宮御會短冊	詔仁親王御詠等	御筆等（有栖）	八枚	有栖	三三三二
有栖川宮宣 來短冊類	有栖川宮御會短冊	職仁親王御詠等	年未詳三・二二 御筆等（有栖）	二七枚	有栖	三三二六	有栖川宮宣 來短冊類	有栖川宮御會短冊	詔仁親王御詠等	御筆等（有栖）	五三枚	有栖	三三三四
有栖川宮宣 來短冊類	有栖川宮御會短冊	職仁親王御詠等	年未詳四・一二 御筆等（有栖）	四四枚	有栖	三三二二	有栖川宮宣 來短冊類	有栖川宮御會短冊	詔仁親王御詠等	御筆等（有栖）	九枚	有栖	三三五一
有栖川宮宣 來短冊類	有栖川宮御會短冊	職仁親王御詠等	年未詳五・二二 御筆等（有栖）	三七枚	有栖	三三二一	有栖川宮宣 來短冊類	有栖川宮御會短冊	詔仁親王御詠等	御筆等（有栖）	二九枚	有栖	三三五四
有栖川宮宣 來短冊類	有栖川宮御會短冊	職仁親王御詠等	年未詳七・二二 御筆等（有栖）	四六枚	有栖	三三二三	有栖川宮宣 來短冊類	有栖川宮御會短冊	詔仁親王御詠等	御筆等（有栖）	三一枚	有栖	三三五七
有栖川宮宣 來短冊類	有栖川宮御會短冊	職仁親王御詠等	年未詳一〇・二二 御筆等（有栖）	七六枚	有栖	三三二四	有栖川宮宣 來短冊類	有栖川宮御會短冊	詔仁親王御詠等	御筆等（有栖）	九枚	有栖	三三二五九
有栖川宮宣 來短冊類	有栖川宮御會短冊	職仁親王御詠等	御筆等（有栖）	九枚	有栖	三三二〇	有栖川宮宣 來短冊類	有栖川宮御會短冊	詔仁親王御詠等	御筆等（有栖）	二〇枚	有栖	三三六二
有栖川宮宣 來短冊類	有栖川宮御會短冊	職仁親王御詠等	御筆等（有栖）	六七枚	有栖	三三二五	有栖川宮宣 來短冊類	有栖川宮御會短冊	詔仁親王御詠等	御筆等（有栖）	三四枚	有栖	三三六三
有栖川宮宣 來短冊類	有栖川宮御會短冊	職仁親王御詠等	御筆等（有栖）	八四枚	有栖	三三二八	有栖川宮宣 來短冊類	有栖川宮御會短冊	詔仁親王御詠等	御筆等（有栖）	六枚	有栖	三三六七

有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	詔仁親王 御詠等	御筆等（有栖）	三一枚	有栖	三二七八
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	詔仁親王 御詠等	御筆等（有栖）	一五枚	有栖	三二七九
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	詔仁親王・ 御筆等（有栖）	御筆等（有栖）	八五枚	有栖	三二三〇
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	詔仁親王・ 御筆等（有栖）	御筆等（有栖）	一五枚	有栖	三三三一
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	詔仁親王・ 御筆等（有栖）	御筆等（有栖）	三〇枚	有栖	三三三四
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	詔仁親王・ 御筆等（有栖）	御筆等（有栖）	一九枚	有栖	三三三五
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	詔仁親王・ 御筆等（有栖）	御筆等（有栖）	二〇枚	有栖	三三三一
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	詔仁親王・ 御筆等（有栖）	御筆等（有栖）	四九枚	有栖	三三三二
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	詔仁親王・ 御筆等（有栖）	御筆等（有栖）	五五枚	有栖	三三三三
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	詔仁親王・ 御筆等（有栖）	御筆等（有栖）	二〇枚	有栖	三三三四
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	詔仁親王・ 御筆等（有栖）	御筆等（有栖）	五七枚	有栖	三三三七
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	詔仁親王・ 御筆等（有栖）	御筆等（有栖）	一〇枚	有栖	三三三八
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	詔仁親王・ 御筆等（有栖）	御筆等（有栖）	二〇枚	有栖	三三三九
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	詔仁親王・ 御筆等（有栖）	御筆等（有栖）	五七枚	有栖	三三三六
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	詔仁親王・ 御筆等（有栖）	御筆等（有栖）	二五枚	有栖	三三三六
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	詔仁親王・ 御筆等（有栖）	御筆等（有栖）	九六枚	有栖	三三三八
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	詔仁親王・ 御筆等（有栖）	御筆等（有栖）	一八三枚	有栖	三三八三
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	豊島（前川）茂微等詠	自筆等（有栖）	七枚	有栖	三三三二
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	中院通知等詠	自筆等（有栖）	二二〇枚	有栖	三三一六
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	中院通知等詠	自筆等（有栖）	二四枚	有栖	三三五八
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	中院通知等詠	自筆等（有栖）	七枚	有栖	三三九四
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	中山忠尹等詠	自筆等（有栖）	八枚	有栖	三三一八

有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	中山忠尹等詠	自筆等（有栖）	一七枚	有栖	三三二七
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	中山忠尹等詠	自筆等（有栖）	一七一枚	有栖	三三六九
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	庭田重熙等詠	自筆等（有栖）	四枚	有栖	三三七三
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	庭田重熙等詠	自筆等（有栖）	七枚	有栖	三三七四
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	橋本実理等詠	自筆等（有栖）	四枚	有栖	三三六八
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	橋本実理等詠	自筆等（有栖）	一六四枚	有栖	三三七〇
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	橋本実誠等詠	自筆等（有栖）	七枚	有栖	三三〇九
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	橋本実誠等詠	自筆等（有栖）	六枚	有栖	三三六六
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	橋本実誠等詠	自筆等（有栖）	三枚	有栖	三三七二
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	八条隆祐等詠	自筆等（有栖）	三三七枚	有栖	三三九〇
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	東園基辰等詠	自筆等（有栖）	一八枚	有栖	三三二六
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	藤木成崇等詠	自筆等（有栖）	五一枚	有栖	三三二〇
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	藤木成崇等詠	自筆等（有栖）	一一枚	有栖	三三二五
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	藤木成崇等詠	自筆等（有栖）	一一枚	有栖	三三九二
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	堀川親実等詠	自筆等（有栖）	一一六枚	有栖	三三八一
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	前川茂矩等詠	自筆等（有栖）	一四一枚	有栖	三三六〇
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	水野直竜等詠	自筆等（有栖）	三一枚	有栖	三三八〇
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	宜子女王 御詠等	御筆等（有栖）	一三枚	有栖	三二一八
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	天河	御筆等（有栖）	七枚	有栖	三二三九
有栖川宮伝 来短冊類	有栖川宮御会短冊	内々当座	御筆等（有栖）	六枚	有栖	三二五〇

(133)

有栖川宮伝 来短冊類	貴子女王和歌御短冊	貴子女王御詠	(有栖)	一二枚	有栖	三三八四
有栖川宮伝 来短冊類	貴子女王和歌御短冊	貴子女王御詠	(有栖)	四枚	有栖	三三三五
有栖川宮伝 来短冊類	多嘉子和歌短冊	多嘉子詠	自筆(有栖)	三枚	有栖	三三四七
有栖川宮伝 来短冊類	孝子和歌短冊	孝子詠	自筆(有栖)	一枚	有栖	三三九四
有栖川宮伝 来短冊類	鷹司兼熙和歌短冊	鷹司兼熙詠	自筆(有栖)	一枚	有栖	三三四八
有栖川宮伝 来短冊類	威仁親王妃慰子和歌御短冊		御筆(有栖)	二枚	有栖	三二七三
有栖川宮伝 来短冊類	威仁親王妃慰子和歌御短冊		御筆(有栖)	一枚	有栖	三二七五
有栖川宮伝 来短冊類	威仁親王妃慰子和歌御短冊等	威仁親王妃慰子御詠	(有栖)	一五枚	有栖	三二七一
有栖川宮伝 来短冊類	威仁親王和歌御短冊	威仁親王御詠	(有栖)	一枚	有栖	三二七四
有栖川宮伝 来短冊類	七夕御会和歌短冊	総子詠	自筆(有栖)	一枚	有栖	三二八七
有栖川宮伝 来短冊類	裁仁王和歌御短冊	裁仁王御詠	御筆(有栖)	一枚	有栖	三二七六
有栖川宮伝 来短冊類	熾仁親王和歌御短冊	熾仁親王御詠		一枚	有栖	三二七七
有栖川宮伝 来短冊類	短冊包紙	利子女王御筆	(有栖)	九枚	有栖	三二六五
有栖川宮伝 来短冊類	短冊包紙		原本(有栖)	五枚	有栖	三二六六
有栖川宮伝 来短冊類	短冊包紙		原本(有栖)	一枚	有栖	三二八三
有栖川宮伝 来短冊類	知幾和歌短冊	知幾詠	自筆(有栖)	一九枚	有栖	三二八八
有栖川宮伝 来短冊類	直子女王和歌御短冊	直子女王御詠	御筆(有栖)	七八枚	有栖	三三九九
有栖川宮伝 来短冊類	徳川宗睦等和歌短冊	徳川宗睦 等詠	各自筆(有栖)	三枚	有栖	三三八六
有栖川宮伝 来短冊類	とし子和歌短冊	とし子詠	自筆(有栖)	一四枚	有栖	三三九二

有栖川宮伝 来短冊類	利子女王和歌御短冊	利子女王御詠	(有栖)	二二枚	有栖	三三一〇
有栖川宮伝 来短冊類	直子和歌短冊	直子詠	自筆(有栖)	一三枚	有栖	三二九一
有栖川宮伝 来短冊類	直子和歌短冊	直子詠	自筆(有栖)	二二枚	有栖	三三一一
有栖川宮伝 来短冊類	則子和歌短冊	則子詠	自筆(有栖)	二七枚	有栖	三二九五
有栖川宮伝 来短冊類	祝詞祭文等覚		原本(有栖)	一冊	有栖	三三九二
有栖川宮伝 来短冊類	仏光寺真乘和歌短冊	釈真乘詠	自筆(有栖)	四枚	有栖	三三四〇
有栖川宮伝 来短冊類	松平乘寛和歌短冊	松平乘寛詠	自筆(有栖)	一枚	有栖	三三三九
有栖川宮伝 来短冊類	倫宮和歌御短冊	倫宮御詠	御筆(有栖)	二枚	有栖	三二九〇
有栖川宮伝 来短冊類	都子和歌短冊	都子詠	自筆(有栖)	三枚	有栖	三二九三
有栖川宮伝 来短冊類	明台院五十回忌追善和歌短冊等		嘉永六・九 原本(有栖)	二点	有栖	三三四六
有栖川宮伝 来短冊類	吉子女王和歌御短冊	吉子女王御詠	(有栖)	一枚	有栖	三三〇〇
有栖川宮伝 来短冊類	頼子和歌短冊	頼子詠	自筆(有栖)	一二枚	有栖	三二九八
有栖川宮伝 来短冊類	職仁親王御詠草等	職仁親王 御詠等	御筆等(有栖)	二枚	有栖	三三二一
有栖川宮伝 来短冊類	和歌短冊		原本(有栖)	二枚	有栖	三二九六
有栖川宮伝 来短冊類	和歌短冊		原本(有栖)	七五枚	有栖	三三〇一
有栖川宮伝 来短冊類	和歌短冊		原本(有栖)	一三枚	有栖	三三〇六
有栖川宮伝 来短冊類	和歌短冊		原本(有栖)	一二枚	有栖	三三〇七
有栖川宮伝 来短冊類	和歌短冊		原本(有栖)	五枚	有栖	三三〇八
有栖川宮伝 来短冊類	和歌短冊		原本(有栖)	一枚	有栖	三三三八
有栖川宮伝 来短冊類	和歌短冊	寄恋六十首御当座	御筆等(有栖)	四〇枚	有栖	三三九七

美術

書画

三一七 法帖・拓本・書譜・書札

後柏原天皇宸筆御懷紙幅 附 田山方南筆釈文（封筒一枚）

有栖川宮伝 来短冊類	古歌短冊	宸筆	一幅	五〇九	二〇七
有栖川宮伝 来短冊類	古歌短冊	江戸中期写（有栖）	一枚	有栖	三二八九
有栖川宮伝 来短冊類	古歌短冊	伝冷泉為久写（有栖）	一枚	有栖	三三四一
有栖川宮伝 来短冊類	古歌短冊散書手本	写（有栖）	三六枚	有栖	三三四四
有栖川宮伝 来短冊類	古歌短冊散書手本	写（有栖）	三六枚	有栖	三三四五
有栖川宮伝 来短冊類	威仁親王妃慰子御筆和歌短冊御手本	写（有栖）	一枚	有栖	三二七二
有栖川宮伝 来短冊類	威仁親王妃慰子御筆和歌短冊御手本	威仁親王妃慰子御筆（有栖）	一枚	有栖	三二七二
有栖川宮伝 来短冊類	熾仁親王御筆和歌短冊御手本	熾仁親王御筆（有栖）	九枚	有栖	三二七〇
有栖川宮伝 来短冊類	伝醍醐天皇宸筆拓本	明治期拓（有栖）	一幅	有栖	一五〇六

〔マイクロフィルム等目録〕

東山御文庫本

（書） （名）

有栖川宮熾仁親王御筆御手本	有栖川宮熾仁親王御詠草御手本	有栖川宮熾仁親王御詠草御手本	有栖川宮熾仁親王御懷紙御手本	有栖川宮熾仁親王御書御手本	宇佐神宝奉納目録写 応永二七・正・二五	永昌記	延暦寺両法華会講師款状写	御璽影	御入記目録	御入記目録	御入記目録	御入記目録	御入記目録	御小道具目録	園城寺灌頂開壇再興願書写	園城寺灌頂開壇勅許願書写
（頁数）（函号）（コマ数）（整理番号）	（頁数）（函号）（コマ数）（整理番号）	（頁数）（函号）（コマ数）（整理番号）	（頁数）（函号）（コマ数）（整理番号）	（頁数）（函号）（コマ数）（整理番号）	（頁数）（函号）（コマ数）（整理番号）	（頁数）（函号）（コマ数）（整理番号）	（頁数）（函号）（コマ数）（整理番号）	（頁数）（函号）（コマ数）（整理番号）	（頁数）（函号）（コマ数）（整理番号）	（頁数）（函号）（コマ数）（整理番号）	（頁数）（函号）（コマ数）（整理番号）	（頁数）（函号）（コマ数）（整理番号）	（頁数）（函号）（コマ数）（整理番号）	（頁数）（函号）（コマ数）（整理番号）	（頁数）（函号）（コマ数）（整理番号）	（頁数）（函号）（コマ数）（整理番号）
一折	二通	一通	五通	一通	二折	一冊	一通	一通	一綴	一綴	一綴	一綴	一綴	一冊	一通	一通
一八五・一〇・七五	一八五・一〇・七四	一八五・一〇・七六	一八五・一〇・五	一八五・一〇・七七	一八五・一〇・六	一六四・一	一六四・九	一八五・一〇・七七	一五・一	二・一	四・一	二・一	一四・一	一六四・七〇	一六四・八三	一六四・八四
一四	四	二	一三	五	一二三	一七	三四三	三	二五	五	六	五	五	一一一	三	三
八〇五	八〇五	八〇五	八〇五	八〇五	八〇五	八〇四	八〇四	八〇六	八〇七	八〇八	八〇八	八〇八	八〇九	八〇四	八〇四	八〇四

懷紙御手本	一通	一八五・一〇・九	三	八〇七五	後愚昧記	一卷	一四・五	五	八〇九二
樂人交名	一通	一四・九	二	八〇七四	御石盤 明治天皇御料	一枚	一八五・一〇・六	八	八〇六六
樂人不参并名代交名	二通	一四・九	三	八〇七四	御懺法講記目錄 自享保六・一二至天明五・一一	一通	一六四・一〇二	二	八〇四四
歌題御手本	二綴	一八五・一〇・七・一・二	二〇	八〇七五	御懺法講次第	一折	一六四・一〇二	二二三	八〇四四
賀茂祝等交名	二通	一四・八	四	八〇七四	御懺法講次第	一折	一六四・一〇三	二一〇	八〇四四
管見記	四二冊	一四・三	八八六	八〇八九	御懺法講次第	一折	一六四・一〇四	二一一	八〇四四
吉記	一七冊	四・三・一・一七	六三八	八〇八五	御懺法講次第	一折	一六四・一〇五	四一	八〇四四
吉記抄出	一冊	四・三・八	三三三	八〇八六	御文鎮 鹿蝙蝠紅葉靈芝文様彫	二個	一八五・一〇・二五	五	八〇六六
吉記抄出	一冊	四・三・九	五〇	八〇八六	御本供進目錄	一通	二・二	二	八〇六六
強健術御号令詞	一冊	一八五・一〇・一四・二	七	八〇七六	御本不足目錄	一枚	二・三	二	八〇六六
交名	一通	一八五・一三・三	七	八〇七六	御本不足目錄	一通	一四・二	二	八〇九
御剣目錄 安永四	一冊	一四・七	一七	八〇七四	直廬叙位指図	一鋪	二・六	三	八〇八一
禁裏准后諸殿雜舍末々共御床丈尺写 安政二	一冊	一四・六・七	一九	八〇七四	下鴨河合社祝同神宝役人逼塞申付覚書	一通	一六四・八二	三	八〇四四
禁裏准后諸殿雜舍末々共御床段違写 安政二	一冊	一四・六・六	一五	八〇七四	下鴨社役者祢宜祝連署請文写	一通	一六四・七・一	六	八〇四四
弘法大師九百五十年忌東寺願書	一通	一四・六・九	三	八〇七四	下鴨社役者祝祢宜祝連署請文写	一通	一六四・七・二・三	四	八〇四四
弘法大師九百年忌参役勘例	一通	一四・六・六	二	八〇七四	下鴨林対馬守康廉口上書写	一通	一六四・七・六	三	八〇四四
弘法大師九百年忌舞樂曼供書類	二通	一四・六・八	四	八〇七四	下鴨広庭雅楽祐寿届書写	一通	一六四・八〇	三	八〇四四
御詠草御手本	一通	一八五・一〇・七・三	二	八〇七五	下鴨役者鴨脚光紹菊長雄連署口上書写	一通	一六四・七・九	三	八〇四四
御会御長櫃目錄 自寛文至宝暦	一冊	一四・七・三	八	八〇七四	小隊運動御号令詞	一冊	一八五・一〇・一四・三	九	八〇六六
御下賜明治天皇御製昭憲皇太后御歌写	一冊	一八五・一〇・二	二四	八〇七五	小隊学御号令詞	一冊	一八五・一〇・一四・四	二一〇	八〇六六
五ヶ条御誓文並写	一通	一八五・一三・三	四	八〇七六	生兵御号令詞	一冊	一八五・一〇・一四・一	一七	八〇六六
五ヶ条御誓文並写	一通	一八五・一三・四	四	八〇七六					
後愚昧記	三四冊	一四・四	九一四	八〇九二					

大行道等図	三鋪	一四・九	八	八七四					
大隊御号令	二冊	一五・一〇・ 一四・五・六	一七	八七六	舞樂拝借目録	一通	一四・九三	三	八〇四
大隊教練第二部御号令詞	一冊	一五・一〇・ 一四・八	六	八七六	舞樂目録	一通	一四・九四	二	八〇四
大隊教練第一部御号令詞	一冊	一五・一〇・ 一四・七	九	八七六	舞樂目録	一通	一四・九五	二	八〇四
親長卿記	三三冊	一五・二	一九四〇	八七七	古御小道具目録 明和七	一冊	一四・六九	二八	八〇四
中右記	二八冊	二・二・ 一・八	一八七一	八八一	文鳳鈔	七冊	一六・六	四八七	八〇七
中右記	一冊	二・三	八四	八八一					
中右記	一冊	二・四	四四	八八一	明月記	一〇冊	二・四	五三二	八〇六
中右記殘欠	二枚	二・五	七	八八一	明月記	二五冊	二・五	八二二	八〇七
中右記目録	三冊	二・七	一五〇	八八一	明月記	一卷	二・六	五〇	八〇七
勅裁案及御教書案	一冊	一五・四	三九	八八一	明治改元詔書	一卷	一五・三	一一	八〇六
東寺勅会参向輩交名	一通	一四・九	二	八七四	明治天皇いろは御手本	一折	一五・一〇・ 二・一	一二	八〇六
東寺仏舍利御上覽願書	一通	一四・八・五	六	八七四	明治天皇御手本	一折	一五・一〇・ 一・八	二七	八〇五
東寺仏舍利御上覽願書写	一通	一四・八・七	六	八七四	明治天皇御手本	一折	一五・一〇・ 三・二	一四	八〇六
東寺仏舍利御上覽願添状	一通	一四・八・六	六	八七四	明治天皇御製御色紙	二通	一五・一〇・ 一・八	九	八〇五
東寺仏舍利御上覽願添状	一通	一四・八・七	五	八七四	明治天皇御製御懷紙	一通	一五・一〇・ 三・三	三	八〇六
東寺曼荼羅供参向輩交名	一通	一四・九	二	八七四	明治天皇御製御短冊	一通	一五・一〇・ 三・三	五	八〇五
鳥形象牙御字突	一本	一五・一〇・ 七・八	四	八七五	明治天皇賢所御告文	明治二一・二・一一			
難波御親征後御祭文	一通	一五・三・ 二	二	八七六	皇室典範並憲法	一通	一五・一〇・ 一八・一	六	八〇六
難波御親征御祭文	一通	一五・三・ 一	二	八七六	明治天皇皇靈御告文	明治二一・二・一一			
西三条季知言上書	一通	一五・一〇・ 四	二	八七五	皇室典範並憲法	一通	一五・一〇・ 一八・一	六	八〇六
能登石動山天平寺繪旨願書留	一冊	一四・一〇・ 一	一五	八七四	明治天皇御告文	明治二一・二・一一			
					明治二一・二・二九	一通	一五・一〇・ 一八・二	五	八〇六
					帝國議會開院ニ関シ				

明治天皇数字御手本	一折	一五・二〇・二二	六	八〇六
明治天皇前後赤壁賦岳陽樓記御手本	一三折	一五・二〇・二〇	一三二	八〇六
明治天皇和漢朗詠集	一折	一五・二〇・二二	一五	八〇六
元長卿記	一三冊	一五・三	四六五	八〇六

東山御文庫別置本

(書名)	(頁数)	(函号)	(コマ数)	(整理番号)
文選	卷一〇・一六、一八、二一、二二、文選集注卷八、九、有附属書類	二五卷のうち二二卷	三・三	九五六

書陵部本

マイクロフィルム

(書名)	(頁数)	(函号)	(コマ数)	(整理番号)
穴太記	寛政一二・四写	一冊	三五・一	三二
出雲国風土記	江戸中期写	一冊	二二・七	六九
出雲国風土記	天明二・一〇・二四写 波多忌寸麻佐禰	一冊	五〇・六	五五
伊勢参道里程抄	合綴 惣社参詣記	一冊	二七・四	六三一
天野信景	文化四写 野田重堅	一冊	二六・四	三九六
一条兼香左大臣並関白拝賀里亭儀	江戸中期写	一冊	二六・四	三九六
一条忠香諸拝賀車立様出立下車図	江戸末期写	一冊	三五・三	八三七
一条忠良元服次第並寢殿図	江戸末期写	一冊	二六・五	七二〇

木戸家 伊藤博文宛木戸孝允尺牘 謄本

文書 木戸孝允

石清水臨時祭清涼殿東庭舞御覧図並詞書

綾小路俊資

右大将拝賀次第並着陣本陣儀

優填王所造梅檀釈迦瑞像歴記

附 西郊清涼寺瑞像流記
(釈願意)

後周 釈徒南、後唐 釈十明

延喜式 五〇卷

藤原忠平等

奥羽観迹聞老志

卷七

神道大祓

小田原敵討

和宮御縁備忘

和宮御降嫁御首途次第

和宮御東行関係書類

第一、五、八

和宮御入輿雜記

広橋光成

仮名日本風土記

要石 謡曲

植田源八

三冊 二七・三 一〇〇 五〇六 八〇五

一卷 C九 三 二五 八三三

一冊 二六・四 三八四 一六 八四〇

鎌倉期写 九 一二 二八 八二三

四九冊 一七・二 二二三 二〇 一三 八四七

江戸中期写 二〇冊のうち一冊 C四 八 九五 八五三

大正一四版 一〇九 二二 五二 八三六

江戸末期写 二〇八 二三五 五〇 八三三

自筆 二一〇 二一〇 六七 八二九

万延二 五〇八 六九 一〇 八三九

原本 八冊のうち三冊 一七・六 二八〇 五二 八二九

明治写 四・五 七七 一四一 八二九

慶安四版 一六五 四一三 五二 八三六

弘化写 一五〇 七〇六 二二 八三三

謡曲要石註	前田夏蔭註	嘉永四写	一冊	鷹	五八一	三一	八三一	外記政次第	正治元・一〇写	一帖	九一六〇五	二九	八三七
上賀茂社家出入大旨		江戸期写	一冊	一〇九	二一	八四三	元元集 七卷	北畠親房	江戸中期写	三冊	二〇五	二二六	八〇七
賀茂行幸次第 (尾欠)		鎌倉期写	一帖	九一五四一	一五	八三四	元元集 七卷	北畠親房	江戸中期写	七冊	F一〇二七九	三五七	八〇八
賀茂御幸記	寛元四・四						元元集 八卷	北畠親房	江戸中期写 (第五八補写)	七冊	谷四七七	一二〇	八〇八・〇九
吉田経俊		葉室頼業写	一冊	葉二〇八六	九	八三四	源氏物語 (紅葉賀一卷欠)						
賀茂祭部類記		葉室頼重写	四冊	葉一二六九	四一一	八三五	附 筆者目録		江戸期写	五五冊のうち一冊	五五四	六	八三七
勸修寺宮御世話備忘	天保六・一〇	原本	一冊	二五四五一	九七	八三六	源氏物語 (総合欠)						
粟田天王社 感神院新宮縁起							附 筆者目録		靈元天皇宸筆 中院通茂等写	五三冊のうち一冊	五五四	八	八三七
進藤為純		文化三写	一冊	一〇九四五六	一九	八三九	元和二年古文書	勅使駿城出仕之次第、徳川家康太政大臣拜任	江戸末期写	一冊	二〇七五八五	七	八四六
寛政曆書等曆算書	附 解説(遠藤利貞)						五位已上歴名帳		南北朝期写	一卷	九三二六	九	八五五
洪川敬直	三四八 解隠題之法	原本	四〇三冊のうち一冊	五五七四六	一五	八四四	五位已上歴名帳		南北朝期写	一卷	九三二七	九	八五五
牛車輦車考	大塚嘉樹(蒼梧)	江戸末期写	一冊	二〇八八三三	九	八二四	光格天皇崩御賜倚廬素服装束司参仕備忘						
京極宮草の庵秋之発句	寛保三・八 上下						天保二・一二 野宮定功		自筆	一冊	二一〇二二一	二四	八三五
家仁親王御詠等、里村昌作点		原本	二冊	桂一五一	二〇	八五三	光格天皇御凶事一会	天保二・一一 小槻以寧等写		一冊	五〇八一九〇	一一五	八三三
儀礼経伝通解	三七卷、続二九卷 宋 朱熹等						光格天皇御葬送御車御用日記	天保二・一一 源宗景	明治写	一冊	二六一一〇六	五二	八三三
第二一		清版	三二冊のうち一冊	二〇一五七	八二	八四三	天保二・一一 源宗景	明治写		一冊	二六一一〇六	五二	八三三
禁裏執次日々申送帳	安政七・正六 江戸期 原本	一冊	F一〇一七	七〇〇	八〇九	二〇	光格天皇崩御記	二卷 一名 天保諒闇記	江戸末期写	一冊	二〇九六九	八五	八三三
寓菴稿	朝鮮 洪彦忠 明 万曆一〇・六版 (朝鮮)	三冊	三〇〇八〇	九三	八三五		公義年中出仕衣服定	外七種	安政五写	一冊	一七五二四	八〇	八三三
愚管抄 卷一	釈慈円	一冊	葉一三八六	三四	八四四		孝経抄 一卷		室町末期写	一冊	四〇一四六	九二	八五四
車大概 一卷	大塚嘉樹(蒼梧)	江戸末期写	一冊	二〇八八六〇	一五	八二四	江山県志 一〇卷	明 徐目葵	清写	四冊	四〇二六七	二八六	八三六
車図并考証		写	二卷	B七四七七	五〇	八二四							
桂光院追悼和歌並詩													
空性法親王御詠		御筆	一卷	桂一〇六三	六	八四四							
寛永六													

皇太神宮城内図	江戸末期写	一冊	三五三 一一一四	四	八四四	御内密申上候別段風説書	阿片戦争	一冊	二五三 三二八	三四	八五四
皇太神宮神主注進状	永正、天正					蘭人	天保一五・五写	一冊			
第一―三冊	室町期写	四冊の うち三冊	五〇二 八六	四〇	八四四	後水尾院御葬送記	延宝八・八	一冊	陵	一四	八三五
皇太神宮殿舎考証	出口延経 江戸中期写	一冊	二二七 二一五	四七	八四五	藤原景慶	大正一三・四・二一写 諸陵寮	一冊	三六四		
興福寺維摩会一会	延宝四 原本	一冊 三帖	西 三八一	一七四	八四〇 四	後桃園院御凶事前後記					
興福寺維摩会参向雑誌	文化七、天保四					安永八・一〇・一 九・三・二九	江戸末期写	三冊	二六五 六五二	三三〇	八三四
坊城俊明、俊克	葉室長順写	二冊	六二〇	四一	八四二	彩雅	一五卷、 目一卷 杉原直養	江戸末期写	八冊	四〇四 二七	二五九 八三七
興福寺維摩会次第	江戸末期写	一冊	三五二 二二八	一六	八四二	祭儀	近衛忠房等	版	一冊	一〇九 二二八	二九 八三四
興福寺維摩会次第	近代勅使要 葉室長順写	二冊	六二六	四五	八四二	祭式	第一、三、四冊	明治写	四冊の うち三冊	一〇九 三八三	一七〇 八三九
迎陽記	応永八、一四 東坊城秀長					祭典作法	平田集枝	明治二九版	一冊	一〇九 九	一八 八三四
第二冊	天保一五写 源友輔	二冊の うち一冊	二五九 一三三	二〇	八三三	左経記	寛仁元〔長元八 附類聚雜例(長元二)九〕				
後柏原院御記	永正三、六、九 大正写	一冊	二五七 一六三	一八	八三九	源経頼	元禄四写、補写 小槻季連等	江戸末期写	八冊の うち一冊	二五九 一三八	六七 八四四
古今位色考	異本 松岡行義 文政一筆	一冊	二〇九 三五六	一六	八三四	左大将殿御着陣次第		江戸末期写	一冊	四一三 四七二	一一 八四〇
家伝 秘書古今中撰記	上下 一名 中撰又記、 合本 中撰実又記					国三十帖策子	大村西崖				
右近政光	江戸末期写	一冊	一六三 八八二	八五	八三八	卷一〔四、六〕八、一〇、一一、 一四、一七、二二、二四	大正四・一二コロタイプ 仏書刊行会	三〇帖の うち二三帖	C一	九九	一〇九七 八二四 五六
後桜町院遺詔使備忘	文化一〇・一一 拔萃					三種神宝秘訣	白井雅胤	明治写	一冊	一〇九 一七五	一五 八四三
後撰和歌集	定家本系 二〇巻					三宝院日次記	承応三〔元禄七	江戸期 原本	一五冊	F九	二四 一一〇 八三九 三
後撰和歌集	天福本系 二〇巻					詩経衣裳図		江戸中期写	一卷	B六	七六五
大中臣能宣等	江戸初期写	一冊	葉 八二九	二〇四	八二二	七社七箇寺御祈申沙汰誌					
御転任御兼任御元服御官位之式						文中除目並中宮大饗拔写	江中 自筆	一冊	三五二 一三三	二六	八三九
寛保元 徳川吉宗、家重、家治	江戸中期写	一冊	一七三 一四七	四五	八四六		江戸末期写	一卷	四六四 八	六	八二三

杜春秋経伝集解 三〇卷 清原家古点	相国寺堂供養記 一卷	東坊城秀長、伊勢貞丈校	相国寺堂供養記 明德三・八・二八	相国寢殿造勘物 江戸末期写	青蓮院宮御世話備忘 天保九・九・一〇	青蓮院宮日記抄 天正九ノ承応二(有欠)	職原鈔抄 尊朝法親王、 尊純法親王等 第三、四 天保一三写 進藤為純 うち二冊 二五九 一〇	汝州志 四卷 明方応選、 張維新等校 明万曆二四版 二一六 八三	新修鷹経 附 弁疑論	嵯峨天皇 江戸末期写 一六三 一一二八	新修鷹経 附 弁疑論 嵯峨天皇 写 五冊 一六三 一一三九	新修鷹経 四卷 嵯峨天皇 文化四・正写 小野式部 一六三 一三〇八	新修鷹経 三卷 嵯峨天皇 寛政二写 松岡辰方 二〇七 九三	神代紀秘解 一七卷 白井雅胤 大正写 三冊 二七三 七四	親王御出家御受戒部類記 九条道房等写 一冊 九 五〇〇五	新聞四種 唐山賊乱、清館問答 別段風説書 二卷 各一卷 江戸末期写 一冊 二〇四 八〇	政情内報鷹司輔熙宛松平慶永池田慶徳書翰 自筆 明治 一冊 鷹 六九二	政事要略(残欠) 惟宗允亮 江戸末期写 一八冊 一七一 一五九	蒼黄抄 中田清五郎 弘化二・二 自筆 一冊 一六三 一二六五	続群書類従 塙保己一、 塙忠宝・忠韶校 卷一九三 入唐五家伝、 卷三三三 金鉄集 七七九冊の うち二冊 四五三 二	大覚寺年譜 野呂井盛俊本 大正一三・二写 諸陵寮 一冊 陵 七八	醍醐雜事記 卷一二 寛文八写 小槻重房 一冊 F一〇 六三八	大乘院門跡維摩会執行関係文書 寛文二三 第一ノ八 原本 一四通の うち八通 二六五 三三五	大嘗会の田歌 写 一冊 鷹 一七一	大嘗会の田歌 江戸末期写 一卷 柳 一三一〇	大嘗会和歌草案 文政元 文政元写 一冊 三五二 一九二	柳原隆光詠 大床子御膳侍中備忘 一卷 江戸末期写 一冊 二〇八 七一一	泰西雨雷地震説 吉田成徳訳 江戸末期写 一冊 二〇五 一一五	大内裏図 裏松光世 図面七鋪 写 六六六の うち七鋪 四五二 三	大内裏図考証 裏松光世 附図四四折写 一〇〇点の うち四四折 一七三 九六	鷹経弁疑鈔 五卷 持明院基春 安永七写 藤原覃 一冊 二〇七 九六	五三 八二三	六七 八五四	七 八〇七	九一六 八五二	一四 八二三	六五 八二三	五一 八四七	三〇 八三六	三二 八四二	一四 八三六	八 八三六	一三 八五五	九 八〇五	四八 八〇五	一二 八三四	一二八 八三四	七九 八五五
-------------------------	---------------	-------------	---------------------	------------------	-----------------------	------------------------	--	--	---------------	------------------------------	---	---	---	--	--	---	---	--	--	---	--	--	--	-------------------------------	------------------------------------	--	---	---	---	---	--	-----------	-----------	----------	------------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	----------	-----------	----------	-----------	-----------	------------	-----------

鷹経弁疑論	持明院基春、 壺井義知校	江戸末期写	三冊	一六三 一二一四	一三七	八三四	東福門院百回御忌御法事申沙汰雜記	自筆	二冊	二一〇 三四二	二五	八五〇
鷹三百首注	殘欠五九首	江戸中期写	一冊	一五四 三五一	二七	八二九	安永六 日野西兼貫	自筆	二冊	二一〇 三四二	二五	八五〇
藤原定家詠		江戸中期写	一冊	一六三 九六〇	二九	八二九	同文通考押字説 附 押字考批考	安永三写	一冊	二〇七 八	二二	八四四
鷹三百首注	藤原定家詠	享和二写 松村元隣	一冊				屋代弘賢批考	安永三写	一冊	二〇七 八	二二	八四四
鷹三百首注拔書	一二三首	元文四・六写 水上楠右衛門	一冊	一五四 三五六	一六	八二九	道命阿奢梨集 一卷	江戶初期写 罪靈元天皇宸筆	一冊	五〇一 一七六	七三	八四三
藤原定家詠			一冊				徳川家康以下將軍宣下任大臣等例	江戸初期写	一冊	四一五 一六二	一九	八四六
鷹司家倭鼓目録	鷹司政通	自筆	一冊	鷹 五七六	二八	八三一	徳川文姫様へ諸家献上割付帳	文政九	一冊	二〇八 一〇六六	三一	八四〇
鷹司輔熙備忘	明治元、二	自筆	一冊	二六五 五六二	一三	八〇七	徳川精姫入興御用雜事留	嘉永二 不詳	一冊	二〇八 一〇六六	三一	八四〇
鷹百首注	近衛前久詠・注	江戸末期写	一冊	一五四 三三三	五三	八二九	松岡明義	自筆 原本	一冊	二〇八 一三三	六六	八四〇
竹内式部一件二付公卿処罰書		江戸中期写	一冊	二六五 六四五	二四	八四四	徳川吉宗転任右大臣次第留書	江戸末期写	一冊	二〇八 九三六	二四	八四六
宝曆一〇 附 石集人体書		江戸中期写	一冊	二二七 一二二	一二	八四四	寛保元	江戸中期写	五冊	二〇五 二八〇	三〇八	八四四
筑後国檢交替使実録帳	仁治二	鎌倉期写	一卷	壬 一〇一五	二〇	八四〇	読史余論 三卷 新井君美	江戸中期写	五冊	二〇五 二八〇	三〇八	八四四
中撰実又記	蹴鞠之事 二卷	江戸末期写	二冊	一六三 八二八	一一三	八三九	徳山雜吟 一卷	宝永七版 京都 文会堂	一冊	二二三 三二	五六	八四三
中撰実又記	二卷 一名 秘書	江戸末期写	一冊	一六三 八七〇	一一三	八三八	毛利元次、伊藤長胤等詠、 林義端	宝永七版 京都 文会堂	一冊	二二三 三二	五六	八四三
右近政光		江戸末期写	一冊	二〇〇 七七	八〇	八三七	徳山文庫唐板書籍考 一卷	自筆 宝曆一一	一冊	二二一 一五四	七四	八四〇
塵塚談 二卷	小川顕道	文化一一 原本	一冊	有栖 一〇〇二〇	一〇五	八四四	徳山文庫和板書籍考 一卷	江戸中期写	一冊	二二一 二〇五	一一〇	八四〇
鶴のひとは	乾坤 高崎正風詠草等	自筆等	二帖	二〇九 二七八	一六	八三二	新見雅宴	江戸末期写	一冊	一〇二 六八	四八	八四六
殿中御席図 一帖		江戸中期写	一冊	一五二 四一四	三四	八三六	大坂内 殿村蔵書目録	江戸末期写	一冊	一〇二 六八	四八	八四六
点取和歌 四種		江戸期写	一冊	一〇九 一六三	一〇	八三九	等由氣太神宮儀式帳鈔	明治一七写	一冊	五〇〇 一六四	一六〇	八四五
天王社御神体考		文化三写	一冊				北川政方	明治一七写	一冊	五〇〇 一六四	一六〇	八四五
東照宮御官位次第	徳川家康	江戸初期写	一冊	F一〇 五二八	二三	八四六						
永祿九ノ慶安元												

豊受太神宮殿舎考証

出口延経撰 江戸中期写 一冊 二二七
二七六

内侍所清祓記 柳原光愛 葉室長順写 一冊 葉
二二三

仲資王記 承元五 白川仲資王 江戸中期写 一冊 三三五
一五六

中御門院御凶事方日記 元文二・四・五 江戸期 自筆 一冊 五〇二
二四一

中御門院御凶事記 広橋勝胤 江戸末期写 一冊 二六五
六四一

中御門天皇御喪事次第 元文二 元文二写 一冊 五〇二
二五六

鍋島直正等書状 鷹司輔熙等宛 原本 一冊 鷹
六二九

南山編年録 二卷 跡部良顕 江戸中期写 二冊 二五二
一四九

南朝紹運図 合綴 新葉集作者部類 江戸中期写 一冊 三五一
一一一

天野信景 江戸末期写 一冊 五一 八二三

南塘先生年譜 清 光緒本活 (朝鮮 清州) 二冊 三〇三
一〇六

二十一代集 二一 江戸初期写 三九冊の 四〇三
うち二冊 一二

二十番歌合 一卷 江戸中期写 一冊 五〇一
五三七

藤原為兼等詠 題簽桜町天皇宸筆 江戸中期写 一冊 一四 八二三

日光山御宮御神宝之内神道秘密之御品絵図 江戸末期写 一冊 五二六
二〇八

日光山東照宮奉幣発遣 慶安元、万治三、明暦二 原本 一冊 五二二
二二三

蜷川親元記 文明一八、一九 江戸末期写 一冊 二〇七
四五九

蜷川親元記 賦銘引付 三卷

寛正六下、 江戸末期写 一四冊の 二六〇
文明一〇、同一五下 うち三冊 一三 二一九 八〇七

仁孝天皇御葬送山頭等図 弘化三 明治写 一包 四五一 六 八三四

年中行事 徳川家 江戸末期写 八冊 二〇八 二八 五一四 八三〇

年中行事画巻略 長沢伴雄稿 江戸末期写 (白描) 二冊 一六二 一九五 一四六 八〇四

年中祭儀節会大略 明治三・六写 谷森善臣 一冊 谷 三三八 三一 八三四

能楽囃子方各流手附書類 附 張扇二本 五七四点の 八
八・一〇ほか うち三二点 C 一 七三五 八二七
八〇七

野宮定祥御献御用私備忘 江戸期 自筆 二冊 二一〇 一三三 三一 八〇七

橋本実麗御献御用備忘並回文留 安政五 江戸期 自筆 一冊 三三三 六八四 六〇 八〇七

八月十五夜之発句 寛保三・八 原本 一冊 桂 一〇四 八 八五三

家仁親王御詠等、里村昌作点 自筆 一冊 葉 一五二〇 四二 八三六

葉室長順御世話雑誌 慶応三 原本 九卷 F 九 八六 一五五 八二三

隼人関係文書 諸国隼人召、 寛政五・一二写 一冊 二〇七 四一五 三五 八〇六

万松院殿穴太記 一巻 松岡辰方 一冊 二〇七 四一五 三五 八〇六

日吉社社領注進記 一巻 祝部俊貞等 明治写 一冊 一〇九 一八四 二二 八二三

日吉社神宝神服神殿御装束目録 元亨二 江戸中期写 一冊 五一六 二一九 一八 八二三

東坊城聡長日記 文化九・七、 安政五・一一 江戸中期写 一冊 五一六 二一九 一八 八二三

第一〜六冊	江戸期 うち六冊	六五冊の 四一四 三八	三三九 八四〇 四一
東山院尊儀御凶事之日記	宝永六・二二 同七・三		
山科正景	江戸期 自筆	一冊	五〇二 二二九 一七 八三三
非藏人次第	元和三〜寛政二〇 写	一冊	二七〇 五五七 一二一 八四五
尚忠公記	水戸藩賜勅返上一件		
九条尚忠	明治写	一冊	四五五 三一 八九 八二八
筆勢集	一卷 釈希一 安永一〇写 生嶋成房	一冊	三三三 一三四 四一 八〇七
秀長卿記	応永一四・三 北山院御入内 一卷		
東坊城秀長	江戸末期写	一冊	二五九 二六五 二三 八三三
秀吉秀次家康秀頼給位記例	江戸初期写	一冊	五一 六三 五 八四六
雛祭之事	江戸末期写	一冊	二六六 九三六 九 八四三
百人一首訓抄	訓 冷泉家説、 注 一条忠良説 嘉永四・一一写 鷹司政通	一冊	鷹 三八九 二一 八二六
百人一首抄	一卷 宗祇注 室町中期写	一冊	五〇一 四〇六 五一 八二六
百人一首抄	系譜人 一卷		
細川藤孝撰	江戸初期写	一冊	五〇一 四〇八 八三 八〇六
兵庫開港一件二付徳川慶喜建言等書留	鷹司輔熙写	一卷	C八 一一三 一一 八三六
兵庫開港ノ儀二付茂長等建白書	慶応三 江戸末期写	一冊	二六四 六五五 一三 八三六
漂流記	寛永度 韃靼漂流記外五種 手島惟敏写	一冊	一六八 六六三 九八 八三八
藤原秀郷兜図	伊勢四日市諏訪社蔵 写	一卷	B六 二二三 五 八五五
服忌令撰注分釈	三卷		
長山庄右衛門、 加藤次章釈、桐渕直貞校	安政二写	三冊	一七一 三三 二五二 八三三
服忌令取捌之大概	一卷 江戸末期写	一冊	二〇八 二七一 二四 八三三
文恭院殿龕前堂御葬穴御石之間絵図面	江戸末期写	一卷	B七 五七 一二 八四六
問月楼集	四卷 明 崔世召 明 万曆八版	四冊	二二三 一三一 二七九 八三六
別段風説書	附 安政四 附 亜国使節江引会之覚	一冊	二一〇 七二 二九 八五四
蘭 ドンクルキユシユス、 手塚律蔵等訳(安政五)	野宮定功写	一冊	二六〇 二一五 二五 八五四
別段風説書	安政三 外国事情 手島惟敏写	一冊	二六八 八七 二八 八五四
別段風説書	安政三 外国事情 江戸末期写	一冊	二六八 八七 二八 八五四
別段風説書	安政四 外国事情 江戸末期写	一冊	二六八 八八 三二 八五四
手塚律蔵等訳(安政五)	江戸末期写	一冊	二六八 八八 三二 八五四
別段風説書	附 安政四 附 亜国使節引会覚	一冊	三三三 七〇五 三〇 八五四
手塚律蔵、西周助等訳(安政五)	江戸末期写	一冊	三三三 七〇五 三〇 八五四
宝永七年浜御殿詩歌	江戸中期写	一冊	九六一 九六 九 八二三
法楽能番組	一卷 江戸末期写	一冊	二〇七 六 一六 八三三
法隆寺縁起	一卷 明治一九写	一冊	一一一 一五六 二五 八三四
北山抄断簡	卷第七 平安末期写	一枚	九 一〇〇九一 三 八三六
藤原公任撰	平安末期写	一枚	九 一〇〇九一 三 八三六
本庄光子叙位並生見玉祝儀能番組	江戸末期写	一卷	C七 二〇 五 八三三
元禄一五・三・二八	江戸末期写	一卷	C七 二〇 五 八三三
本朝書籍目録	(裏)寛永一九具注暦 江戸期写	一卷	B六 六〇三 三三 八三六
御車新調並修履書類	宝暦〜文久 原本 写本	一冊	一六九 三七七 九八 八三七

室町將軍家拝賀并着陣記	江戸初期写	一冊	九 五二六九	三一	八四二
毛詩 二〇卷 漢 鄭玄箋	室町期版	一二冊	四〇一 三八	五七九	八三五
摹古絵巻 九〇巻	卷六三、六四、六九、七〇、 七三、七五ノ一、同二 (彩色)	江戸末期写 九〇巻の うち七巻	B二 八四	二三九	八三八
桃園院崩御前後之紀聞 宝暦二・七〜九	江戸末期写	一冊	一七五 一一八	一四	八三三
文字考 二巻 新井君美	江戸末期写	二冊	谷 九〇	八二	八四四
維摩会私記 宝永三 裏松意光 裏松益光写	一冊	三五二 一二三	一四	八四一	
維摩会申沙汰並参向記 安政二・一〇	葉室長順 自筆	一冊	葉 一四三一	七	八四一
女幸子女王御入内記 元禄一〇 一卷	江戸末期写	一冊	二〇八 八〇五	三九	八三九
要筐弁志年中行事 四巻	江戸末期写	四冊	一七五 三〇〇	一四七	八三二
鷹術部類書 語類之卷上下、 法義之卷、目錄	江戸中期写	四冊	一六三 九三二	二〇七	八三三
鷹術法義之巻 下	江戸中期写	一冊	一六三 一二四二	六二	八三三
容与堂六種曲 明 李贄批評	明版	八冊の うち六冊	二二四 一一	三八七	八四四 ・五
礼記 二〇巻 (巻一欠) 漢 鄭玄註	清正写 清原宣賢	一九冊	五五六 一八	七九七	八三三 ・三
羅山県志 四巻 首一卷	明 李弘道等	二冊	二二六 七四	一八〇	八五三
李花集 上下 宗良親王御詠 文久二・一二写 徳川貞子	明 万暦版	二冊	有栖 五一一三	一〇一	八二六

立車図	中山口伝説 一卷	伊勢貞幹	江戸末期写	一冊	二〇八 一三四八	六	八二四
柳営年中御祝儀次第	一卷		江戸末期写	一冊	二〇九 五六〇	一九	八三三
両太神宮殿舎考証	出口延経	文政一三写	一冊	三五〇 二六		八四	八四五
類字名所外集	釈契沖	附を除く	写	八冊の うち七冊	一五五 一三二	四二六	八四三
靈元院尊儀凶事一会之記	清書	享保一七	自筆 江戸期	一冊	五〇二 二三五	五七	八三三
平田職甫							
靈元院尊儀御中陰記	享保一七 参仕交名	江戸末期写	一冊	二〇八 八七七		四四	八三三
靈元天皇御凶事一会之記	草稿 享保一七	自筆 江戸期	一冊	五〇二 二四二		四三	八三三
平田職甫							
老中招請能	延宝八 將軍代替	江戸末期写	一冊	二〇八 一〇八〇		八	八二八
和歌大綱上抄抄	上中下						
藤原基俊		江戸末期写	三冊	鷹 一三六		一八五	八三六
和漢朗詠集	関戸本	大正八・三コロタイプ 倉田実	一冊	一五五 三二		七五	八二三
和漢朗詠集	卷下	藤原公任撰 鎌倉期写 伝冷泉為相	一卷	四〇七 一〇		四〇	八五三
和漢朗詠集断簡幅	炬火	伝後光厳天皇宸筆	一幅	九 一〇二六		二	八五三
Nederlandsch magazijn ter verspreiding van algemeene en nuttige kun-							
digheden							

Nederlandsch magazijn ter verspreiding van algemeene en nuttige kundigheden
1849, 1852-55
Amsterdam 1834-56
二冊の
うち五冊
洋〇
一五八
一〇八六
八二六
・一八

デジタルデータ

(書名)	(頁数)	(函号)	(コマ数)	(整理番号)	
足利義詮御教書・足利直冬書下					歌合 三ヶ度
正平六・一二、 同一〇・正	原本 南北朝期	一巻 谷 四二八	七	八〇五三	題簽 元天皇宸筆
足利義政像 一名 慈照院殿像	江戸末期写 (彩色)	一枚 二〇八 二八	二	八〇五六	江戸初期写 一冊 五〇一 五七六
足利義満以下將軍宣下文書					厩戸皇子童行之図 写 一枚 伏 三二三
応安二丁永禄一一	原本 写本	一帖 五一一 八七	八一	八〇九三	延喜縫殿寮式雑染顔色 写真 一冊 A一 六二一
阿仏房画像 豪信画	文政六写 土岐濟美	二枚 二六六 九七七	三	八〇五六	大坂城々攻めの事 元和元夏 御筆 一巻 桂 一一九九
安倍晴明像	江戸末期写 (彩色)	一枚 二〇八 三一	二	八〇五六	智仁親王 智仁親王 御筆 一冊 二六五 一〇七六
異国御祈文書 文永七・三、弘安四・七					大坂落城記 附 二荒山記 智仁親王 御筆 一巻 四五七 一八二
伊勢神宮寛御厨検田注文 保延元 鎌倉期写	原本 自筆等	三巻 一〇〇一 一〇一〇	二〇	八〇五三	岡山県名勝写真 写真 一冊 B一 六八
伊勢国河後郷等御厨関係文書					小河家古文書 室町期 五通 二巻 一名 小倉家古文書
伊勢神宮寛御厨検田注文 保延元 鎌倉期写					織田信長像 江戸中期写 二帖 二〇七 三七一
伊勢神宮寛御厨検田注文 保延元 鎌倉期写					おちくほ 江戸末期写 二枚 二〇八 三四
伊勢神宮寛御厨検田注文 保延元 鎌倉期写					おとぎ草紙 (のせざる草紙欠) 江戸初期写 四冊 四五九 三四
有栖川宮 伊藤博文書状(明治二・五・一九)	原本	一七点の うち一通 有栖 一〇〇五〇	七	八〇六八	小野道風画像 文政二写(彩色) 鶴沢探春 版 一二冊 一五一 一〇七
犬射図	文化七写 松岡行義	一巻 B七 五〇三	九	八二〇〇	小野道風画像 近衛家蔵 江戸末期写 一枚 二〇八 八
犬追物絵図	江戸期写	一巻 B七 四九五	九	八二〇〇	園城寺古文書 建武、正平、文和、永享 下知状、軍忠状、立願文等 新井君美写 一冊 二〇五 二八八
有栖川宮 岩倉具視書状等					外国船具 写(彩色) 一巻 五〇〇 一三三
岩倉具視書状(明治一五・四・一八)	原本	七六点の うち一通 有栖 一〇〇四八	六	八〇六八	誠太子書 花園天皇(元徳一・二) 宸筆 一巻 伏 七三三
陰陽文集訓 清 輔仁会刊 清 乾隆三三版		一冊 一一四 五九	九	八〇七三	柿本人麻呂画像 伝幸仁親王御画 原本 一幅 有栖 一五〇四八
上杉謙信像	江戸末期写 (彩色)	一枚 二〇八 一八	二	八〇五六	柿本人麻呂画像並万葉集和歌幅
宇治拾遺物語 八巻	古木活	八冊 谷 一六四	三九八	八二二	

真仁法親王御画、織仁親王御書	御筆	一幅	有栖 一五〇三九	二	八〇五六	空華老師日用工夫略集	一名	空華日工集	二冊	二〇五 二五〇	一七五	八〇九四
柿本人麿像 葦手書	伝後陽成天皇宸筆	一幅	伏 七三九	四	八〇五六	釈周信	正徳三写	二冊	九	一〇六	二〇	八〇六九
勝五郎前世聞書 一卷	江戸末期写	一冊	二〇六 三七	一四	八〇九五	九条家文書 卷二九六、二九七	原本	三三六点の うち二卷	九	一〇六	二〇	八〇六九
鎌倉殿中行事 一卷	江戸中期写	一冊	二〇九 三九六	四一	八〇五三	九条植通詠草幅 一名 さきちるも 東光院殿植通御辞世	自筆	文禄三	九 一〇〇四	二〇七 四六四	二五	八〇六九
鎌倉年中行事 異本 一卷	江戸末期写	一冊	二〇九 二八八	五二	八〇六九	公方様御内書御案文 一卷	江戸末期写	一幅	二〇七 四六四	二五	八〇六九	
海老名孝高	鎌倉期写	一卷	伏 四一八	一四	八二〇〇	群書治要 五〇巻 (巻四、一三、二〇欠)	元和二銅活 (駿河版)	四七冊の うち一冊	四〇四 二八	三七	八〇五七	
鴨長明像 土佐光茂画	江戸末期写 (彩色)	一枚	二〇八 三三二	二	八〇五六	建礼門院画像 天保一二写(彩色) 岡田為恭	鷹	七一四	五	八〇五六		
河内国高連御牧閑連文書	南北朝期写	一卷	四〇七 一一	一〇	八〇九四	公宴御会始及御当座和歌 宝暦一四・正	享保一 明和	桂 一二四〇	一三	八〇九四		
閑院宮歴代御画像 直仁親王へ愛仁親王原本	五幅 閑	五〇〇六	一五	八〇五六	光格天皇宸翰南無阿弥陀仏 一千遍	宸筆 寛政六	一卷	閑	一	二九	八〇七二	
紀伊天野社所領文書 正嘉、文永、弘安、正応、正安、正和 高野山文書	水野家模写	一卷	四〇五 五八	二六	八〇九四	康熙帝賜琉球国王尚貞勅諭写 康熙二八・一〇・一〇	江戸期模写	一卷	E一 一九	八	八〇五五	
木戸家文書 天部六〇、人部二二五	原本	四二点の うち二卷	F一 五	四二 ・九三	万曆杭州府志 一〇〇巻(有欠) 序凡例目一卷	明 陳善 第一冊	明 万曆七版	二七冊の うち一冊	四〇二 七九	八二	八〇五七	
紀家集 巻第一四(首欠)	延喜一九・正写 大江朝綱	一卷	伏 六四一	二七	八〇五四	古今伝受資料 細川藤孝伝、烏丸光広受等	原本	一〇三三 点	五〇二 四二四	三七一	八〇六九	
行幸北山殿蹴鞠記 一名 蹴鞠抄	室町末期写	一冊	一六三 八五五	二一	八二〇〇	後小松天皇宸筆御書状 年末詳・二・一八 附 田山方南筆釈文(二枚)	宸筆	一幅	五〇九 二〇四	二	八〇五五	
京極宮当座会和歌並詩 家仁親王御詠等	享保一 宝暦	一卷	桂 一三三二	一一	八〇九三	後西天皇宸翰御消息幅 妙法院宛	宸筆	一幅	四一五 三〇四	三	八〇七三	
京都寺院関係古文書	康永三へ 天正一二	一卷	B六 八三三	五三	八〇五三	後桜町天皇宸翰和歌懷紙幅 三首	宸筆	一幅	閑 五〇〇二	二	八〇五五	

後桜町天皇宸翰和歌懷紙幅	明和二・ 九・四	宸筆	一幅	有栖 一五〇一四	二	八〇七三	西園寺家古文書	応永〓享祿、年未詳 所領關係、禁制 五通	原本	一卷	谷 四一〇	一七	八〇五三
附 天仁遠波御伝受後 職仁親王添狀(一通)	御製	宸筆	一幅	有栖 一五〇一四	二	八〇七三	西園寺家文書	文和〓明德 繪旨 一五通	原本	一卷	五二 九七	三三	八〇五三
後桜町天皇宸翰和歌懷紙幅	われもまた	宸筆	一幅	有栖 一五〇一六	二	八〇七三	佐伯文庫書目	江戸末期写	原本	一冊	一〇二 五八	六二	八〇六九
御製		宸筆	一幅	有栖 一五〇一六	二	八〇七三	佐伯毛利侯献納書目	文政一二写	原本	一冊	一〇二 一〇八	四四	八〇六九
後桜町天皇宸筆和歌御色紙幅	一首	宸筆	一幅	五〇九 七〇	二	八〇七三	前上総介執達狀等	建仁、永仁 東大寺古文書 四通	江戸末期模写 水野家	一卷	四〇五 六六	一五	八〇五四
御製		宸筆	一幅	五〇九 七〇	二	八〇七三	桜町天皇宸翰和歌懷紙幅	陽春布徳 宸筆 寛延二	原本	一幅	閑 五〇〇一	二	八〇七三
故唐律疏義釈文訂正	一卷	宸筆	一冊	四〇二 一三	一四	八〇五五	更級日記	菅原孝標女 寛文二模写 (定家本)	原本	一冊	五二 二四	一〇七	八〇六八
清 沈炳		宸筆	一冊	四〇二 一三	一四	八〇五五	三条西公条筆詩懷紙幅	九・九同賦菊英裏露詩 自筆	原本	一幅	有栖 一五〇一七	二	八〇七三
故唐律疏義序文	清 勵廷儀 雍正一三	宸筆	一冊	四〇二 一三	一四	八〇五五	史記	一三〇卷 駿河御讓本 漢 司馬遷	永正一五模写(元版) 三条西実隆	四三冊の うち一冊	四〇一 八六	三六	八〇五七
御内書案并古文書	明応、応仁、永正、 天文、永祿	宸筆	一冊	四〇二 一三	一四	八〇五五	式内染鑑	第一冊	永正一五模写(元版) 三条西実隆	文化八写	二〇九 三六	一七	八〇五四
御内書引付	永享〓天文 一卷	宸筆	一冊	二〇七 四六六	二三	八〇六九	下無調撥合 附	崇光天皇識語包紙 (応安四・一一・一九)	後伏見天皇宸筆	一卷	伏 九六〇	九	八〇七二
伊勢貞忠調進、伊勢貞満		宸筆	一冊	二〇七 四六六	二三	八〇六九	射学正宗	明 高頼	明 崇禎一〇版	五冊	二〇五 一九三	一一三	八〇三
後深草上皇龜山殿行幸記		宸筆	一冊	二〇七 四六六	二三	八〇六九	昭憲皇太后御詠草幅	御詠	明 崇禎一〇版	一幅	五〇九 六九	二	八〇五五
源雅言		宸筆	一冊	二〇七 四六六	二三	八〇六九	消息文	室町期	原本	一卷	谷 三八〇	一一	八〇五三
小的之図	伊勢貞衡	宸筆	一冊	二〇七 四六六	二三	八〇六九	消息類雜纂	平安末〓江戸中期	原本	二帖	谷 三七〇	一一二	八〇三
後水尾天皇宸翰古歌懷紙幅		宸筆	一冊	二〇七 四六六	二三	八〇六九	城受取渡書	江戸中期写	原本	一冊	二〇九 一〇九	二六	八〇五七
藤原公通詠		宸筆	一冊	二〇七 四六六	二三	八〇六九	菅原道真公像	土佐行広画	江戸末期写	一枚	二〇八 三五	二	八〇五六
古文書	天正〓慶長 田島沽券等 一名 革嶋文書	宸筆	一冊	二〇七 四六六	二三	八〇六九	相撲私記	寛政三・六 於吹上	寛政六写	一冊	二〇七 九二	一一	八〇〇〇
古文書	延慶〓大永、年未詳 一二通 壳渡狀、軍忠狀、消息等	宸筆	一冊	二〇七 四六六	二三	八〇六九	相撲之図	寛政三・六 於吹上	寛政六写	一冊	二〇七 九二	一一	八〇〇〇
古文書雜纂	正応〓元祿、年未詳 三七通	宸筆	一冊	二〇七 四六六	二三	八〇六九	相撲之図	寛政三・六 於吹上	寛政六写	一冊	二〇七 九二	一一	八〇〇〇
古文書類	承暦〓長祿 一四通	宸筆	一冊	二〇七 四六六	二三	八〇六九	相撲之図	寛政三・六 於吹上	寛政六写	一冊	二〇七 九二	一一	八〇〇〇

清凉殿図	平面図、立面図	江戸末期写	二枚	二〇九 一二六	六	八〇五七	正仁親王御画像	狩野種信画	原本	一幅	有栖 一五〇〇二	二	八〇五六
善通曼荼羅両寺々領注進状	久安元・一二二 一卷	鎌倉期写	一卷	五二二 一一二	一四	八〇七二	熾仁親王御画像	威仁親王御画	原本	一幅	有栖 一五〇〇一	二	八〇五六
全唐詩	九〇〇巻 清 彭定求等						熾仁親王御讃雛図幅						
第八〇、一一一冊		清版	二〇冊の うち二冊	国 八六二	一六八	八〇七二	川端玉章画、熾仁親王御讃		自筆	一幅	有栖 一五〇四六	二	八〇七三
禅林寺古文書		原本	一卷	五〇三 八	二一	八〇七二	熾仁親王御肖像	桂僊昌画	原本	一幅	有栖 一五〇一二	二	八〇五六
雑阿含経	卷第三七 一卷 一名 光明皇后御願経						有栖川宮 伝来書翰類 熾仁親王書状等						
宋 釈求那跋陀羅訳		奈良期写	一卷	五二二 六八	三五	八〇五四	熾仁親王書状 (慶応四・三・一八、五・二八)		御筆等	八通の うち二通	有栖 一〇〇四六	二四	八〇九三
即位灌頂秘説		文永二写 釈栄全カ	一卷	九 五二一	九	八〇九五	長府歩射装束色目		江戸中期写	一卷	B六 三三三	六	八〇〇〇
大記	延久四・一〇(一) 長治元・二(有欠)						椿葉記	草稿本 (有欠)	貞成親王	御筆	伏 四	五一	八〇五四
藤原為房		江戸中期写	一二冊	二五五 三六	二六四	八〇五七	追雛図	一卷 滋野井公麗補	江戸末期写	一冊	二〇八 一三五五	一三	八〇九四
大正天皇宸翰幅	徳感人風動物	宸筆	一幅	四一五 三〇一	二	八〇六八	韶仁親王御画像	弘化二 岸岱画	原本	一幅	有栖 一五〇〇七	二	八〇五六
大正天皇宸筆五字一行御掛幅							つれつれ草	兼好	室町中期写	一冊	谷 二七	二三五	八〇九五
終始一誠意		宸筆	一幅	五〇九 六八	二	八〇五五	貞明皇后和歌御色紙	御詠	御筆	一枚	五〇三 二四〇	一	八〇六八
大乘悲分陀利経	平安期写 (金銀交行)	一卷	五二二 八四	一八	八〇五四		伝後亀山天皇宸翰御賀状幅	曼殊院宮宛		一幅	四一五 三〇三	二	八〇七三
大蔵一覽集	一〇巻 目一卷 宋 陳実	慶長木活	一一冊の うち一冊	四〇四 三〇	五三	八〇五七	伝後鳥羽天皇御消息幅	御いのりの 伝宸筆		一幅	九 一〇一二	二	八〇七三
大般若波羅蜜多経	卷二四四 和銅五長屋王願経	奈良期写	一帖	五〇三 三三	二七	八〇五四	道蔵経目録	一卷 佐藤忠淳	明治二七写	一冊	一一一 一七八	五八	八〇九五
唐 釈玄奘訳		原本	一卷	九七〇	九	八〇五四	東大寺古文書	天喜、天永、文保、元亨、 正慶、応永、長祿、慶長	原本	一卷	五二二 一〇四	一六	八〇七二
啄木調	三通 崇光天皇、 西園寺実兼等	江戸末期写 (彩色)	一枚	二〇八 一六	二	八〇五六	徳川十六将像		江戸中期写	一枚	二〇八 二四	二二	八〇九四
武田信玄像		写	一枚	二〇八 一七	二	八〇五六	智仁親王筆和歌懷紙幅		御筆	一幅	桂 二〇〇四	二	八〇七三
武田信玄灰煉不動像							藤原俊成詠		慶長				

渡唐天神聖像幅	室町期写	一幅	九 一〇一八	二	八〇五六	日野家雜文書 室町期、宝永	室町期、江戶中期写	一卷	B六 四四五	一七	八〇五七
中御門天皇宸翰和歌懷紙幅	三首 宸筆 享保九	一幅	閑 五〇〇五	二	八〇七三	百人一首作者画像 上下	江戶初期写	二卷	B六 四八四	五七	八〇六八
業平朝臣像	江戸末期写 (彩色)	一枚	二〇八 一〇	二	八〇五六	百人一首抄 一卷 宗祇注	室町中期写	一冊	五〇一 四〇六	五二	八〇七三
名和長高請取状 (裏)源平盛衰記断簡	元応二・九 原本	一卷	谷 三八五	八	八〇五三	後陽成天皇御注 慶長二一	江戸初期写 奥書 靈元天皇宸筆	一冊	五〇一 四一四	九五	八〇六八
宣子女王御画像 韶仁親王妃	九条尚忠画 原本	一幅	有栖 一五〇〇九	二	八〇五六	百人一首抄 文明一〇 宗祇法師真跡註書之写	安永五・四写 平顯仲	一冊	鷹 一三八	六一	八〇九三
宣子女王御画像 慶応三・九 韶仁親王妃 附 源如松書付(一通)	原本	一幅	有栖 一五〇一〇	四	八〇五六	百鬼夜行絵巻物 江戶中期写 (彩色)	江戸中期写	一卷	B七 四三〇	二三	八〇九五
榛名神社文書 拓本 七通 一名 榛名山文書	明治拓	一卷	閑 三〇〇四	一二	八〇七二	兵庫鎖剣図 三嶋社藏上杉憲忠奉納 写	明治写 東京府	一冊	B六 一三八 七八	六	八〇九五
美仁親王御筆和歌懷紙幅 三首	御筆	一幅	有栖 一五〇二三	二	八〇七三	吹上訪古録 一卷 東京府	東京府	一冊	一六六 七八	五二	八〇五三
美仁親王御筆和歌懷紙幅 あやめ草	御筆	一幅	有栖 一五〇二三	二	八〇七三	富士山図並織仁親王画讃和歌幅 東京府	東京府	一冊	一六六 七八	五二	八〇五三
美仁親王御筆和歌色紙幅	御詠	一幅	有栖 一五〇二四	二	八〇七三	伏見院宸記 弘安一〇・一〇(有欠) 永仁元・一〇(有欠) 附 桜町院宸筆御添状	自筆 御筆	一幅	有栖 一五〇三二	二	八〇五五
美仁親王御筆和歌色紙幅	御詠	一幅	有栖 一五〇二四	二	八〇七三	伏見院宸記 弘安一〇・一〇(有欠) 永仁元・一〇(有欠) 附 桜町院宸筆御添状	自筆 御筆	一幅	有栖 一五〇三二	二	八〇五五
東山天皇和歌御懷紙幅 鶴有退齡 宝永六	宸筆	一幅	閑 五〇一一	二	八〇七三	伏見天皇御集 夏 広沢切 (裏)嘉元五、徳治二具注曆	宸筆	一卷	五〇三 二一九	四七	八〇五四
東山天皇宸翰和歌懷紙幅 露光宿菊 一首	宸筆	一幅	閑 五〇〇〇	二	八〇七三	藤原忠通消息幅 大臣宛 十因一帖	自筆	一幅	九 一〇〇一	二	八〇七三
御製	宸筆	一幅	五〇九 七五	二	八〇七三	一名 法性寺殿忠通御文	自筆	一幅	土 一三二	二	八〇五五
日野家一門之事備忘草	日野資矩 自筆	一冊	二六五 一一〇四	二	八〇九三	藤原忠通書状 平安期	原本	一幅	九 一〇二二	二	八〇七三
日野家一門名字便覧草	日野資矩 自筆	一冊	二六五 一一〇四	二	八〇九三	藤原良経詠草幅 かすか山 伝自筆	貞享元版	八冊	二二七 六〇	三一七	八〇〇〇
日野資矩	寛政八・三 自筆	一冊	二六五 一〇七〇	四二	八〇九三	武用弁略 木下義俊	貞享元版	八冊	二二七 六〇	三一七	八〇〇〇
寛政八・三	自筆	一冊	二六五 一〇七〇	四二	八〇九三	本朝書籍目録 (裏)寛永一九具注曆	貞享元版	八冊	二二七 六〇	三一七	八〇〇〇

江戶初期写	一卷	B六 六〇三	三二	八七三	幸仁親王御筆和歌懷紙幅	詠社頭祝和歌	御筆	一幅	有栖 一五〇三八	二	八七三		
雅久卿記	文明八、同一一、延徳二、 文龜二、同三、年未詳	自筆	四卷	F九 一〇八	二九六	八〇五三	幸仁親王御筆和歌懷紙幅	海路霞	御筆	一幅	有栖 一五〇四四	六	八七三
壬生雅久							附 大倉汲水書状		御筆	一幅	有栖 一五〇四四	六	八七三
まりの記	貞治二、享徳二 きぬかつきの日記、雲井の春	室町中期写	一冊	伏 一九〇	一九	八二〇〇	幸仁親王御画像	附 矢嶋貞玄記(一通)	原本 享保八・七	一幅	有栖 一五〇〇一	四	八〇五六
二条良基、一条兼良		寛政四写	一冊	二〇九 一一六九	一五	八二〇〇	幸仁親王書状幅	年未詳・三・四 評定衆宛	御筆	一幅	二〇九 二〇二	二	八七三
丸物草鹿之記	伊勢家伝	原本	三枚	土 一〇九	八	八〇五三	弓具諸図		江戸中期写	一冊	二〇九 一三〇五	一八	八〇〇〇
御教書	正平六、応仁元、明応七 土御門家知行之事	江戸末期写 (彩色)	一枚	二六六 九九〇	二	八〇五六	陽光院御消息幅	誠仁親王	御筆	一幅	四一五 三〇二	二	八七三
源頼政像							楊氏家蔵方	二〇卷 目一卷 宋 楊俓					
都林泉名勝図会	五卷	寛政一版 河内屋喜兵衛	六冊	一六六 二二二	二七九	八二〇三	第一冊	宋 淳熙二二版	二一冊の うち一冊	四〇三 三七	三七	八〇五七	
秋里舜福、西村中和画		伝自筆	一幅	五〇〇 一四〇	二	八〇五六	好仁親王御筆和歌懷紙幅		御筆	一幅	有栖 一五〇二六	二	八七三
宮本武蔵自画像	成瀬氏	江戸末期写	一枚	二〇八 三八	三	八〇五六	秋日詠二首和歌	御詠	御筆	一幅	有栖 一五〇二七	二	八七三
宮本武蔵像		文龜、永正 関東方 一卷	一冊	二〇七 四六〇	三二	八〇六九	好仁親王御筆和歌短冊幅	冬月	御筆	一幅	有栖 一五〇二八	二	八七三
紫式部石山詣図幅	伝土佐光元画、原本 三条西公条讃	永禄三	一幅	九 一〇一九	二	八〇五五	好仁親王御筆和歌懷紙幅		御筆	一幅	有栖 一五〇二九	二	八七三
室町殿御内書案	文龜、永正 関東方 一卷	江戸末期写	一冊	二〇七 四六〇	三二	八〇六九	好仁親王御筆和歌短冊幅	露深	御筆	一幅	有栖 一五〇三〇	二	八七三
明治天皇宸翰御手習并御清書		宸筆 文久元・一一	三七枚	有栖 一〇〇二六	四〇	八〇六八	好仁親王御筆和歌短冊幅		御筆	一幅	有栖 一五〇三一	二	八七三
明正天皇宸筆御書状	江玉真慶宛	宸筆	一幅	五〇九 二〇五	二	八〇五五	職仁親王御画像	巴達蘭 (天明元)	原本 江戸中期	一幅	有栖 一五〇三二	二	八七三
附 是澤恭三筆釈文(一枚)		宸筆	六冊	一〇二 一七八	三七六	八〇五四	類聚歌合	一卷 一二ヶ度 題簽靈元天皇宸筆	江戸初期写	一冊	五〇一 五五三	九三	八七三
紅葉山文庫書目	大正一二写	御筆	一幅	有栖 一五〇四〇	二	八〇七三	幸仁親王御筆和歌懷紙幅						
幸仁親王御画像	寒山之図	御筆	一幅	有栖 一五〇四〇	二	八〇七三	幸仁親王御筆和歌懷紙幅						
幸仁親王御筆和歌懷紙幅	詠裁菊和歌	御筆	一幅	有栖 一五〇四〇	二	八〇七三	幸仁親王御筆和歌懷紙幅						
御詠		御筆	一幅	有栖 一五〇二五	三	八〇七三	幸仁親王御筆和歌懷紙幅						

藤原良経詠

宸筆

一幅 閑 五〇〇九

二 八〇七三

和漢事始

和事始、漢事始
附録共

貝原好古

京都 元禄一〇版
小川多左衛門

六冊 一〇四 五二三 八〇二

和漢朗詠集断簡幅

炉火 伝後光厳天皇宸筆

一幅 九 一〇一六 二 八〇七三

〔貴重書複製目録〕

（書 名）

（複製本）（頁数）（函号）（請求番号）

青森県下行啓記念写真帖

一冊 B一 三九 電子 一五

明石名所写真帖 目録共

二冊 B八 七八 電子 一五

安法法師集

一冊 一五〇 五五七

出雲大社並附近名所写真帖

一冊 B一 一一 電子 一五

伊勢行幸記念写真 大正四

三〇枚 B一 四九 電子 一五

伊勢神宮並附近写真

一二枚 B一 二二 電子 一五

佚名家集

一冊 一五〇 五五三

右京集 一名 建礼門院右京大夫集

一冊 一五〇 五五二

宇治大納言物語

一冊 一五〇 五五五

うつ蟬 一名 源氏物語

一冊 一五〇 五五八

詠歌大概字訓

一冊 一五〇 五五九

弇州山人四部稿

五六冊 四〇一 二二七

王氏存稿

八冊 四五八 二二九

岡山孤児院本院並分院写真帖

二冊 B九 一七 電子 一五

懷麓堂全集

四〇冊 三八九 二三三

愧瘖集

六冊 四〇四 二三四

近思錄集解

四冊 五〇〇 四七六

経言枝指

五〇冊 二二三 二二九

桂談鈔 催馬楽口伝

一冊 伏 一四

孔聖全書

三三冊 二二〇 二三三

相楽郡名所写真	三八点	B 九 一一	電子 一五	南満洲鉄道	五冊	B 一 二六	電子 一五
三儒類要	三冊	五五 四〇	三三六	蓉塘詩話	二冊	国 三〇 六	二三〇
史記 卷八〇～一一六	八冊	四〇一 八六	朱 一五二	横浜水道写真帖	一冊	B 八 一五三	電子 一五
静岡管内名勝写真	一冊	B 八 一二二	電子 一五	嘉仁親王巡洋艦筑摩進水式台臨記念写真帖	一冊	B 一 六一	電子 一五
宗祇一札 一名 宗祇初心抄	一冊	一五〇 七二〇	五八四	嘉仁親王富山県下行啓記念写真	五四枚	B 八 五二	電子 一五
莊義要刪	一〇冊	四〇三 一二七	二二七	嘉仁親王福井県下行啓写真	四八枚	B 八 一九	電子 一五
続五明題和歌集	二冊	三五〇 七八	五八一	嘉仁親王北海道行啓記念写真	一三枚	B 八 一七	電子 一五
台湾蕃界写真帖	一冊	B 一 一四四	電子 一五	嘉仁親王三重県下行啓記念写真帖	一冊	B 八 一三	電子 一五
著作最秘抄	一冊	五九 五二七三	三七五七	陸放翁詩集	二冊	四〇四 四三	二三三
奠都三十年祝賀会写真帖	一冊	B 九 六三	電子 一五	連歌 五箇度	一冊	一五〇 三四二	五五六
奠都三十年祝賀会写真帖	一冊	B 九 六四	電子 一五	老子翼	三冊	五五 一二	二二六
長崎港並附近名所写真帖	一冊	B 一 三五	電子 一五	六十番歌合 四季 恋 雑	一冊	五〇一 一五	五五九
日英博覧会出品写真帖 朝鮮風俗	一冊	B 一 四二	電子 一五				
日光道の記 天保二二 一名 あつまちの記	一冊	二一〇 二九	五五八九				
馬関勝景写真帖	一冊	B 一 六七	電子 一五				
秘笈新書	六冊	一五九 一二八	二三五				
日野資枝公武御用雜記 安永九、一〇	四冊	二六五 一〇七	六二〇九				
蟻衣生粵草	二冊	五五 九二	二三八				
福岡県勝景写真帖	二冊	B 一 二四一	電子 一五				
歩兵第三十六連隊写真帖	一冊	B 一 一四三	電子 一五				
雅寿王記 文政三～天保五 (有欠)	二七冊	四〇六 一	六〇八				
万葉抄 歌拔書	一冊	五〇一 一一	五五九〇				
御嶽風景	一冊	B 一 三一	電子 一五				

